

令和 2年度

事務事業評価表 ( 令和元年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 2 年 4 月 1 日

事務事業名		石材業振興支援事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	040203000539
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独		
政策体系	総合計画の施策名	0402 商工業の振興						所属課	050301
	政策名	04 活力ある産業のまちづくり							商工観光課
	施策名	02 商工業の振興						課長名	
	手段名	03 ③石材業の振興						グループ	商工観光グループ
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		単年度繰返し (年度~)
	01	07	01	02	01	00	商工振興事業		
法令根拠	桜川市補助金等交付規則								期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
石材業界への支援 ・真壁石材協同組合の支援(産地PR、後継者育成、需要開拓等) ・羽黒石材商工業協同組合の支援(産地PR、後継者育成、受注・販売事業等) ・第五次石材振興助成事業(研修事業、伝統工芸士認定、意匠開発等)	・各種会議への出席 ・補助金の支出

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・各種会議への出席 ・運営費補助金の支出	会議数	回	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
真壁石材協同組合 羽黒石材商工業協同組合	組合員数	社	130.00	121.00	120.00	120.00	120.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
組合経営を安定させ、組合員数の維持に努める。	組合員数	社	130.00	121.00	120.00	120.00	120.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業内訳	30年度(実績)		01年度(実績)		02年度(計画)		期間限定 総投入量
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	国庫支出金	千円	0	0	0			0
	県支出金	千円	0	0	0			0
	地方債	千円	0	0	0			0
	使用料・手数料	千円	0	0	0			0
	その他	千円	0	0	0			0
	一般財源	千円	1,380	2,150	2,150			0
	事業費計(A)	千円	1,380	2,150	2,150			0
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人			

01年度事業費 実績(千円)

02年度事業費 予算(千円)

事業費の内訳	01年度事業費 実績(千円)		02年度事業費 予算(千円)	
		千円		千円
	19 負担金補助及び交付金	2,150	19 負担金補助及び交付金	2,150
	合計	2,150	合計	2,150

事務事業名	石材業振興支援事業	事務事業No.	40203000539	所属課	商工観光課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ ・昭和2年に小舗石の共同販売のために、真壁、羽黒、稲田などの業者を含めて、20余名で常陸舗石商業組合を設立された。その後、羽黒石材商工業協同組合と真壁石材協同組合に別れ、現在に至っている。 ・平成7年には真壁石燈籠が国の伝統的工芸品に指定されたが、両組合とも石材業界の不況にともない組合員数が減少している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ ・市内には石材業関係者が多く、今後も石材組合の運営費に対して助成を継続してほしいとの要望がある。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 両組合への支援は石材業の振興につながり、市の政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地場産業の支援は市の活性化に不可欠である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 石材業界は厳しい状況にあり、組合員数も減少傾向にある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 組合員の減少により会費収入も減少し、両組合とも厳しい運営となっている。運営費助成を廃止・休止した場合は現状維持も厳しくなると思われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 特に無し
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 組合員の減少により会費収入も減少し、両組合とも厳しい運営となっている。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 地場産業を維持するための助成であり公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) H29から新製品づくりに取り組んでいるが、厳しい状況が続いている。																		
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持	○			低下			
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上維持	○																		
	低下																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input type="checkbox"/> ⑦																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>	
--	--	---	--